

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
施術総論											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	後藤 晃弘			実務 経験	有	職種	柔道整復師				
授業概要											
各外傷に対応する柔道整復術の基礎を学びます。											
到達目標											
柔道整復学の基礎となる人体の構造や機能、ここでは人体の構造や機能を中心に学び理解していくことを目的としている。知識と基盤に立ってさらに臨床の場で特に鑑別診断に必要な知識となれるよう、さらにそれらの知識を応用して緊急な状態にあるものに対して適切な判断、適切な処置ができるよう、柔道整復師の業務で要求されるレベルで説明できるようになる必要がある。											
授業方法											
教科書を中心として、一般的な外傷やその処置などの理解を深めることを意識して授業を進める。前回までの知識の確認を個々の学生へ質問形式で実施する中で、学生自身が将来必要とされる患者への説明技術を向上させる。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。社会の動きや学生の状況などを概説するので、自分でも情報を収集し起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書（柔道整復理論 ー社団法人全国柔道整復学校協会 監修ー）に準拠する。											
回数	授業計画										
第1回	患者さんとの問診時に必要なコミュニケーション能力を理解する。										
第2回	問診時の注意点を理解する。										
第3回	病歴聴取の進め方を理解する。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
柔道整復科	
施術総論	
第4回	身体診察の流れを理解する。
第5回	診察時期による分類や治療計画の作成を理解する。
第6回	施術録の扱いと記載を理解する。
第7回	施術録に記載をする保険証の見方、書き方を理解する。
第8回	施術録に記載をする保険証の書き方、問診時の流れを理解する。
第9回	整復法（徒手整復施行時の配慮）を理解する。
第10回	骨折の整復法（非観血的整復の要点、整復の一般原則）を理解する。
第11回	整復法の分類（牽引直圧整復法、屈曲整復法）を理解する。
第12回	脱臼の整復法（非観血的整復の要点）を理解する。
第13回	脱臼の整復法（整復の一般原則、槓杆作用・牽引作用を利用した方法）を理解する。
第14回	軟部組織損傷、筋損傷、腱損傷、神経損傷の初期処置を理解する。
第15回	指導管理を理解する。